

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

|          |   |
|----------|---|
| モデル事業名   | 交流促進による地域活性化モデル事業   |
| 対象地域     | 高知県高岡郡越知町 横畠（西部地区）  |
| 活動概要     | <p>越知町の中心市街地から山間部へ10km程入った横畠西部地区には8集落、127世帯、人口約300人が暮らしている。地域の北側には越知町で最も標高の高い黒森山(1017m)があり、南側には安徳天皇御陵参考地のある横倉山が見え、西側と東側の下方には、四国3大河川仁淀川が流れるなど、ロケーションはこの上なく素晴らしい。</p> <p>一方で、基幹産業であった農業の衰退により若者の人口流出が著しく、高齢化が進行し、6集落がいわゆる限界集落となり、地域唯一の教育関係施設であった横畠小学校が平成15年から休校となった。</p> <p>このような中、平成15年2月に、8集落中6集落の有志が活性化グループ「虹色の里横畠」を結成して、地域活性化を目指してイベントなどを開催し、交流人口の拡大により、みんな元気で笑顔の絶えない、にぎやかな横畠にしようと取り組んでいる。</p> <p>仁淀川を挟んで西側の対岸には人口約260人の野老山地区、北側には稲村谷川を挟んで横畠西部地区の飲料水と農業用水の水源地でもある人口約60人の日ノ浦・清助地区があり、改良された農道や林道などでつながっている。野老山地区は休校校舎を大人の学校として活用したり、日ノ浦・清助地区は地域内の道路沿い10kmに渡ってあじさいを植え、毎年あじさいまつりを開催するなど地域活性化に取り組んでいるが、両地区とも限界集落であり高齢化の進行は止まらず、地域の活力の衰退が大きな課題となっている。</p> <p>こういった近隣地区とも手を携え、地域出身者を始め内外から地域に愛着を持つ人材を掘り起こして新たな活動家を育成し、地域資源の再発見と再整備、そしてそれを有効活用しながら、中山間地の素晴らしいロケーションを活かして交流・定住人口の拡大を図り、「交流」を地域活性化のテーマとして地域の活力再生を目指す。</p> |
| 今年度の主な取組 | <p>(1) 活動基本方針の再検討<br/>「越知町横畠虹色プラン」づくり(ニーズや課題の整理、活動の柱づくり、小学校校舎の活用方針等)。</p> <p>(2) 活動環境の整備<br/>虹色の里横畠の活動拠点として、休校となっている横畠小学校を可能な範囲で整備する。</p> <p>(3) 社会実験的な活動<br/>①空き家・遊休農地の情報提供活動と移住者受け入れ支援体制づくり<br/>②地域の魅力・付加価値の向上(地域資源の再評価と再整備)<br/>③ソフト面の強化(自然案内人の育成等の人的体制強化)</p>   |

活動結果

虹色の里横畠「虹色プラン」づくりをコンサルタントに丸投げせず、メンバー自らが積極的につくるという作業を通して、横畠の強みを再発見でき、それを地域のアイデンティティとして位置付け、事業の5か年計画を立てたことにより、横畠に誇りを持ち将来に対する夢と希望が明確になった。

交流・体験観光のための人材育成として行った自然案内人養成講座の中で、これまで知らなかった地域の歴史や史跡の価値を新たに発見したことで、改めて先人への敬意と地域への誇りを持つことができ、今後の活動に自信と希望を与えてくれた。

また、休校施設の活用事例調査として行った四万十方面への先進地視察で、漠然と先進的な事例と考えていた地域でも、同じような課題を抱えながらも、それぞれが必死に頑張っている姿を目の当たりにして、その苦労や実情と横畠の状況を直接比較することで、自分達の地域や取り組みに対する自信と課題設定ができた。そして、視察先で出会った同志のような方達とのつながりができたことも大きな収穫である。

これまでのボランティア的な取り組みでは、どうしても限界があり、一定規模の地域資源の見直しや整備等に対して、時間と労力を費やすことができなかった。そのような折りに、新たに今年度の「新たな公モデル事業」を活用させていただき、横畠地区の地域資源の再評価や再整備、虹色の里横畠の組織の強化と活性化に向けて、更に大きな一歩を踏み出すことができた。

また、他地域からも注目を浴び、地元の行政からも活動を認められ、組織に対する信頼や期待が寄せられていると実感している。

当初予想していなかった効果

① 地域の歴史や史跡の再発見：交流・体験観光のための人材育成として行った自然案内人養成講座の中で、地元の高齢者も知らないような地域の歴史や史跡等、新しい魅力を発見することができたことで、改めて先人の偉業への敬意と地域への誇りを持つことができ、今後の活動に自信と希望を持つことができた。初めての取り組みとしては大きな成果が得られたと感じている。また、案内人講座で得られた歴史や伝承等の情報は、整理して説明板や標識の設置、今後の交流イベントで活用できるツールにしていく予定である。

② 新メンバーの加入：自然案内人養成講座にはメンバー以外にも、虹色の里横畠の活動に興味のある人等に参加してもらい、その内の4名がそのまま虹色の里横畠のメンバーになっていただけるといふ思わぬ収穫があった。更にそのつながりで、もう2名の加入があった。その一人は郵便局に勤めているが転職を考えており、事務局的な役割を担ってもらえそうな感触があり虹色の里横畠のムードが一層盛り上がってきている。

実施状況(写真)



【写真】自然案内人養成講座

【写真】「白芽芋」芋煮会(交流・休校活用)



【写真】空き家実態調査 【写真】旧松山街道の復元(地域資源再整備)

|         |   |
|---------|---|
| 応募団体名   | 越知町 虹色の里横畠  |
| リンク     | <a href="http://www3.ocn.ne.jp/~kanko12/yokobataketop.htm">http://www3.ocn.ne.jp/~kanko12/yokobataketop.htm</a> |
| 部局/担当者名 | 会員(事務局補佐) 武智 龍  |
| 連絡先     | 0889-26-2958<br>ryu_takechi@jp.bigplanet.com  |
| 推薦市町村名  | 高知県越知町  |